

高3「古典探究」の授業を紹介します。

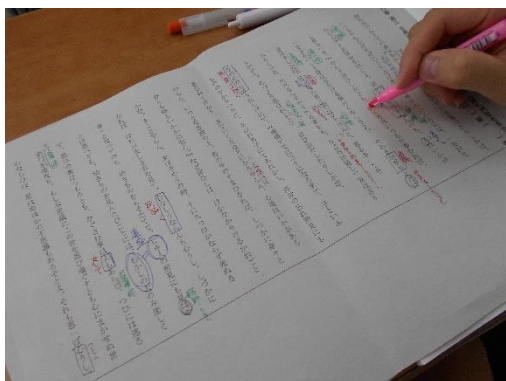


高3では、授業の中で問題演習を行っています。

特に、多くの生徒が「大学入試共通テスト」を受験するので、授業計画の中でその対策にも力を入れています。

「共通テスト」の国語では、複数の文章の読み比べや読み合わせによる設問が出題される傾向にあります。

今回の授業では、鎌倉時代に成立した『建礼門院右京大夫集』と『平家物語』との読み合わせによる授業を行いました。これらの文章の中に共通する登場人物（平氏の武将とその妻）を把握し、ストーリーを読み進めながら、最終的にはその二人の心情を理解する、というところに重点を置いて授業を進めました。難解な文法や、分かりにくい言い回しの部分もあったのですが、それらを一つひとつ確認して読み進めることで、生徒たちも登場人物の深い情愛を文面から感じることができたようです。また、設問もスムーズに解答することができました。



授業では主にパワーポイントを使い、本文や設問をスクリーンに提示して授業を進めています。分かりやすく、また、見て楽しいパワーポイントの作成を心がけています。